

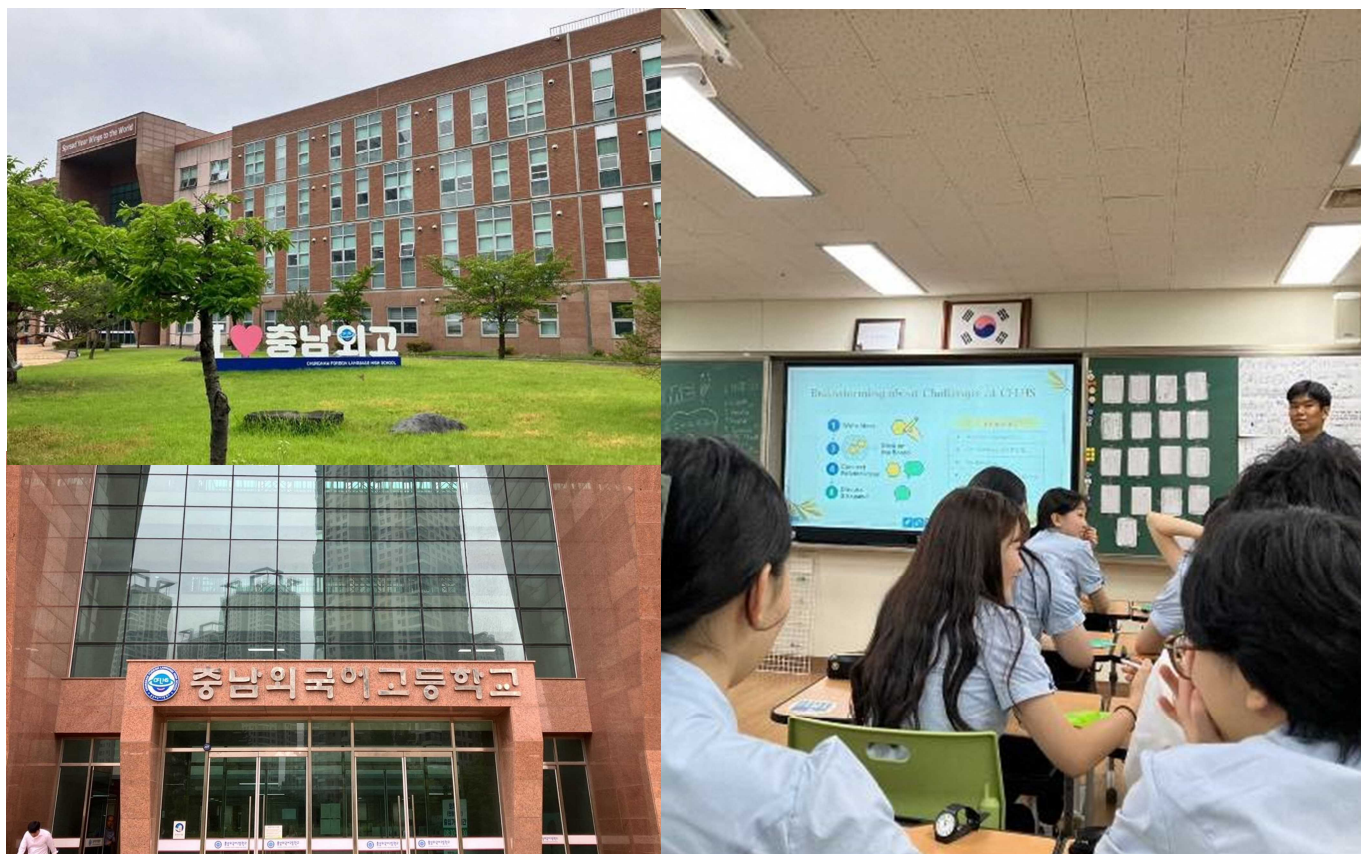
海外トピックス

静岡県海外駐在員報告

2025.

8

静岡県企画部地域外交課



左：韓国忠南外国語高等学校(牙山市) 右：忠南外国語高等学校の授業風景

東南アジア

ベトナムの旅行会社、航空会社へのセールス(ベトナム)
統合型リゾート施設・マリーナベイサンズ拡張(シンガポール)

中国

香港人の10%超が来場！？香港ブックフェアで本県の航空路線・観光資源をPR
ガンダム完成！！在上海総領事館でガンプラ制作体験会を開催

韓国

登山とハイキング
忠南外国語高等学校訪問記

台湾

アクティブシニア向けセミナーを開催 県内企業との提携で
台湾で大規模なりコール投票 結果は

東南アジア駐在員報告

駐在員：村川 未帆

行政

ベトナムの旅行会社、航空会社へのセールス（ベトナム）

7月上旬、ベトナムのハノイとダナンで開催された旅行会社との商談会に参加した。当該出張に併せ、個別に旅行会社と航空会社も訪問し、県内の観光情報、モデルコース、観光支援金等を紹介し、ツアー造成、チャーター便就航等の依頼をした。

ベトナム人は訪日旅行時に旅行会社を通じたビザ取得が必要なため、旅行会社によるツアー手配の割合が比較的高く、旅行会社への商品造成の働きかけがインバウンド市場攻略に有効な国だ。

ベトナム人の8割弱が訪日旅行未経験者（日本政府観光局調査）であり、まずは日本の主要な観光地を訪問したいという人が多く、商談した旅行会社でも、東京・大阪間のいわゆるゴールデンルートを訪問するツアーが目立った。ゴールデンルート上にある本県は、観光地、宿泊先をツアーに組み込んでもらえる余地が大いにあり、富士山を含む美しい自然の景色や茶摘みや茶道等のお茶体験が楽しめるスポット、温泉、ショッピングエリア等を、写真や動画を使って視覚的に紹介した。SNS映えする写真を撮ることが好きなベトナム人に、日本らしさを感じるこれらのスポットは大変魅力を感じるようで、商談では具体的な質問も多く出て、今後の商品造成につながる良い感触を得た。

今後、旅行会社、航空会社へ継続的にフォローアップをし、ベトナム市場からより多くの誘客を目指す。



経済

統合型リゾート施設・マリーナベイサンズ拡張（シンガポール）

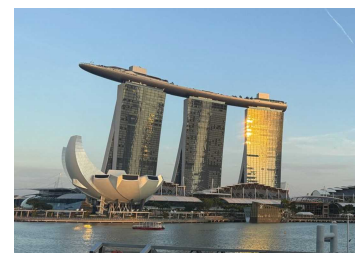
今やマリーナベイサンズと並んで、シンガポールの象徴的存在のマリーナベイサンズ（MBS）。三棟のビルの上に巨大な船のような屋上庭園とインフィニティプールが設置された建物は、カジノ、ホテル、MICE（展示スペース、会議室）、ショッピング、飲食、ミュージアムなどで構成される統合型リゾート施設（IR）だ。

シンガポールにはMBSの他、セントーサ島にもIRがあるが、2つのIRは、2010年のオープン以来、年間で数十億ドルの収益を上げるとともに、数千人規模の雇用も生み出し、観光や飲食、小売などの関連産業にも大きな波及効果をもたらしている。

そのMBSが本年7月、既存の3棟の建物に隣接する形で、新たに55階建てのホテル棟やMICE、娯楽施設、飲食店エリアを新設する拡張工事の起工式を開催した。

この大規模な拡張プロジェクトは、シンガポール政府の積極的な支援を受けて進められており、主目的は観光業の成長促進、経済貢献、そして新たな雇用創出で、今回の拡張により、数千人規模の雇用が創出される見込みだ。

日本では、万博開催地の大阪・夢洲に、2030年秋にIRの開業が予定されている。シンガポール同様に、日本に大きな経済効果がもたらされることを期待する。



中国駐在員報告

駐在員：石川 祐介

経 済

香港人の 10%超が来場!香港ブックフェアで本県の航空路線・観光資源をPR

7月16～22日、上海事務所は香港国際会議展覽センターで開催された「香港ブックフェア」に出展した。

同イベントは名前のとおり「本の展示即売会」で、1週間の期間中に香港人（約750万人）の10%超が訪れる香港最大級のイベントだ。今年は89万人が来場した会場には「ジャパン・パビリオン」が設けられ、静岡県、栃木県、北陸（石川県・福井県）、兵庫県、福岡県、沖縄県、Jリーグなど13ブースが特色あるプロモーションを展開した。



本県は、香港で人気の高い「ちびまる子ちゃん」の大型ぬいぐるみと記念撮影できるコーナーを開設。「ちびまる子ちゃんの故郷・静岡に香港エクスプレスで行こう!」を合言葉に、多くの来場者が撮影を楽しんだ。上海事務所のSNSをフォローすれば「ちびまる子ちゃんランドの団扇」がもらえるキャンペーンも大好評で、期間中に約2,000人ものフォロワーを獲得した。

最近香港では、漫画『私が見た未来』に端を発して、7月5日に日本で大災害が起こるとの噂が立ち、インバウンドに大きな影響を及ぼしてきた。今回、複数の来場者に尋ねてみると、皆が「もう予言日を過ぎたから大丈夫」と笑うのが印象的だった。香港－日本各路線のチケット価格も上向きで需要の回復を感じさせることから、客足の早期回復に期待したい。

経 済

「ガンダム完成!!」在上海日本国総領事館でガンプラ制作体験会を開催

7月28日、在上海日本国総領事館は、夏休みの中国人親子（40組80名）を対象としたガンダムのプラモデル制作体験会と、日本のアニメにおけるIP（知的財産）保護の講演会を開催した。

上海事務所は、同イベントで「徳川家康とプラモデルの縁」をテーマに本県産業と観光資源を紹介。参加者からは「静岡がプラモデルの都であるとは初耳で、そのゆかりが徳川家康にあるとは意外で面白かった」との声や、「次回の旅行先として日本を検討しているが、静岡に行けば親子で楽しめそう」との声も聞かれた。

在中国の日本大使館・領事館では、日本の良質なコンテンツをPRするイベントを積極的に開催しており、常にネタを探している。上海事務所経由でお繋ぎできるので、海外でのプロモーションをお考えの方は、ぜひお声掛けを頂きたい。



韓国駐在員報告

駐在員：石ヶ谷 彰英

文 化

登山とハイキング

本県を韓国でPRする際のキーワードといえば、温泉に緑茶、徳川家康公であり、そのいずれもが非常に魅力的なのだが、やはり最も手応えを感じる話題は富士山である。打ち合わせの席では「今年から富士山の静岡側も入山料をいただくことになりまして」といった説明になるのだが、その際に帰って来る言葉が「とにかく是非富士山には登りたい」である。

韓国の人は登山やハイキングが大好きである。日本でも土休日の夕方にハイキング帰りのグループの姿を電車で見かけることがあるが、ソウル市内の電車でこうしたグループに出会う確率は日本の数倍、いや十数倍と言っても過言ではないだろう。

日本の総務省統計局「令和3年社会生活基本調査結果」によれば、「登山・ハイキング」の行動者率（10歳以上人口に占める過去1年間に該当する種類の活動を行った人の割合）は7.7パーセント。平成28年の調査では10.0パーセントだったので、やや減少している。

一方、韓国文化体育観光部の「2023年余暇活動調査」によると、過去1年間に登山した人の割合は23.7パーセント。日本の約3倍である。さらに韓国森林庁が発表した「2022年森林登山等体験国民意識調査」では、月に1回以上登山やハイキングに行く人は成人（19歳から79歳）の何と78パーセント。しかも前年より1パーセント増加している。

森林庁の調査にはハイキングが加わるため、設問が「登山」である文化体育観光部の調査よりも該当者は増すのだろうが、それにしてもやや多過ぎのようには思える。しかし現地では生活していると、78パーセントもあながち間違いではないというのが実感だ。

韓国旅行のリピーターの中には、ソウル近辺での登山やハイキングにチャレンジする方も多い。お試しで気軽に楽しみたい方は、ソウルのシンボルであるソウルタワーまでバスやケーブルカーに乗らず、麓の地下鉄駅から1時間程度、のんびり歩いて行くことをお勧めしたい。ソウル市民が登山やハイキングを愛する気持ちを共感できるだろう。

教 育

忠南外国語高等学校訪問記

本県と友好協定を締結している忠清南道の牙山（アサン）市にある忠南（チュンナム）外国語高等学校を訪問する機会を得た。

同校は忠清南道教育庁により運営されている公立校で、生徒数は3年生までの420人。各学年で英語3、中国語2、日本語1、ベトナム語1の7クラス編成で、1クラスの生徒数は20人である。開校は2008年で、ベトナム語クラスは2011年に設置されている。

参観した授業は1年生日本語クラスの英語の授業であった。「日本語クラスだから英語の授業はそれほど難しくのないのでは？」と思う方もいるかも知れないが、非常に実践的で、生徒の考える力を引き出すハイレベルな授業であった。また、生徒も全員前向きで積極的に発言する。もちろん英語で。高校1年にして英語がこの実力ともなると、日本語もしっかり学び尽くして、いずれは複数言語を自由自在に扱えるようになることは間違いのないだろう。

大企業の製造拠点が近くにあり、教育への興味や関心が深い住民が多く、この高校への期待も高いようだ。環境と熱意が教育において大切であることを実感した授業見学であった。

台湾駐在員報告

駐在員：市川 美奈子

行政

アクティブシニア向けセミナーを開催 県内企業との連携で

7月23日、弊所は台北市内の生涯学習センターで「アクティブシニア向けセミナー」を開催した。

同セミナーは、今年3月に弊所が初開催したアクティブシニア向けセミナーの第2弾。今回は「静岡、芸術の秋」をテーマに、ヤマハ株式会社の台湾の拠点である「台湾山葉音楽股份有限公司」（以下、台湾山葉音楽）と連携して実施した。なお同セミナーは、弊所が県内企業を訪問し、県内企業の要望や悩みをヒアリングする中で生まれた企画である。

まずは弊所から県内全般の観光情報を参加者にお伝えし、その後台湾山葉音楽から、浜松市のヤマハ本社内にある「ヤマハイノベーションロード」の紹介や、アクティブシニアにおすすめの楽器の紹介、音楽教室の紹介等を行った。セミナーの最後には台湾山葉音楽の社員によるミニコンサートがあり、盛況のうちに幕を閉じた。

弊所では台湾に事務所がある強みを活かし、台湾における県内企業の活動支援も行っている。台湾における県内企業の活動が一層活発化するように、今後も、さまざまな方法でサポートしていきたい。【アクティブシニアセミナーの様子】



政治

台湾で大規模なリコール投票 結果は

7月26日、台湾立法院（国会に相当）の議員24人を対象としたリコール請求の賛否を問う住民投票が行われた。世論調査ではリコールに「賛成」と「反対」がそれぞれ5割弱を占めていたが、結果は24人全員がリコール不成立となった。

2024年5月20日に民進党の頼清徳政権が発足したが、立法院では民進党は過半数の議席数に満たない第2党となっており、最大野党の国民党が第1党となる「ねじれ国会」状態にあった（113議席中、民進党が51議席、国民党が52議席を獲得。第3党である民衆党が8議席を獲得）。これにより、与党が提出した予算案が野党によって大幅にカットされたり、法案の審議で与党案が否決されて野党の改定案が通ったりするなど、不安定な政権運営が続いていた。

このことを受け、民進党は国民党の立法委員に対する大規模リコール請求を実施した。24人のうち6人以上のリコールを成立させ、その後の選挙で民進党議員を当選させれば立法院における単独過半数（57議席）を占めることができると思惑だったが、初回の試みは失敗に終わった。このことによって民進党の政権運営はより厳しさを増していくといえるだろう。

リコール投票は、8月23日にさらに7人の国民党議員を対象に実施される予定だ。引き続き状況を注視したい。

【台北市内のビルに掲げられた「リコール賛成」の垂れ幕】



参考：<https://www.dgpa.gov.tw/information?uid=30&pid=12572>（行政院人事行政総処）

静岡県 海外駐在員事務所

●東南アジア駐在員事務所（シンガポール）

住所	12 Eu Tong Sen Street, #04-168 The Central(S0H02), Singapore 059819		
電話	+65-6221-0432	FAX	+65-6221-0477
URL	http://shizuoka.sg/		
E-mail	fujinokuni@shizuoka.sg		

●中国駐在員事務所（上海）

住所	上海市長寧区延安西路 2201 号 国際貿易中心 2611 室		
電話	+86-21-6275-0909	FAX	+86-21-6275-8856
URL	http://www.shizuokash.com		
E-mail	ilfjs@shizuokash.com		

●韓国駐在員事務所（ソウル）

住所	韓国ソウル特別市中区武橋路 21 The Exchange Seoul ビル 6 階		
電話	+82-2-777-1835	FAX	+82-2-777-1837
URL	http://shizuokaseoul.com/ https://blog.naver.com/goshizuoka		
E-mail	shizuoka@shizuokaseoul.com		

●台湾駐在員事務所（台北）

住所	台北市中山区南京東路二段 137 号 連邦商業ビル 13 階		
電話	+886-2-2508-1515	FAX	+886-2-2503-5303
URL	http://www.shizuoka.org.tw/		
E-mail	shizuoka.tw@gmail.com		

<日本での連絡先>

静岡県 企画部 地域外交課

住所：静岡市葵区追手町 9-6

電話：054-221-2572 F A X：054-221-2542

E-mail：kokusai@pref.shizuoka.lg.jp